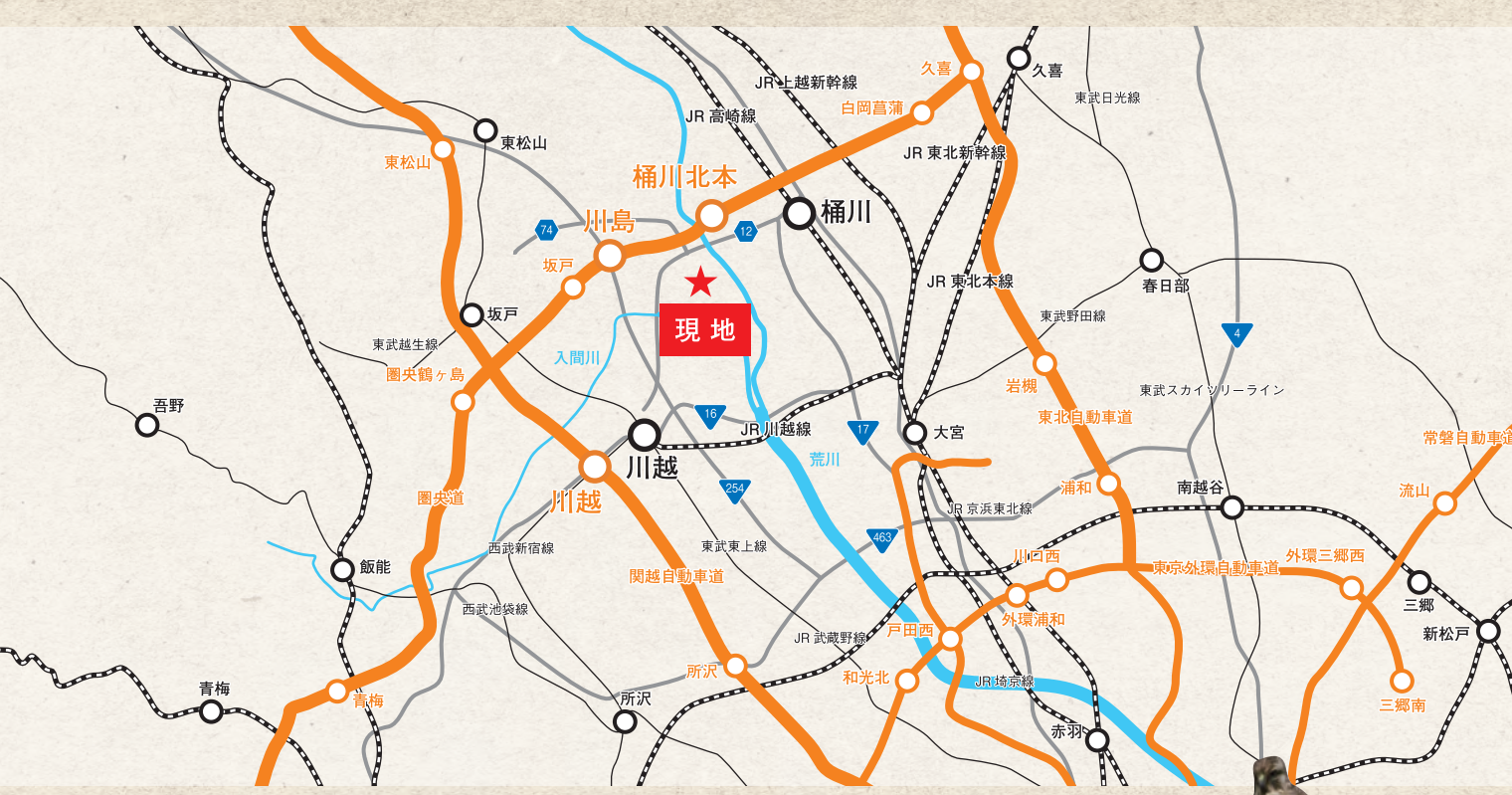


21.1.28 荒川太郎右衛門パンフレット（仕上がり A4）表1ー表4

荒川太郎右衛門自然再生地へのアクセス



お車でのアクセス

関越自動車道：川越 I.C. より 約30分
国道16号→国道254号線を東松山方面へ→「宮元町」交差点を右折→県道12号線を桶川方面へ

圏央道：川島 I.C. より 約10分
国道254号線を東松山方面へ→「南園部」交差点を右折→県道74号線を道なりに→「山ヶ谷戸」交差点を右折→県道12号線を川越方面へ

圏央道：桶川北本 I.C. より 約10分
県道12号線を川越方面へ→太郎右衛門橋先を左折

国道17号線：坂田交差点より 約15分
県道12号線を川越方面へ→太郎右衛門橋先を左折

ホンダエアポートを目標としてください。
※車で行く方への注意
車は農道には入れません。訪問された場合は堤防からホンダエアポートに下る横堤わきに駐車してください。

電車・バスでのアクセス

JR 高崎線：桶川駅西口より 東武バス「(川越 04) 川越駅行」約12分
JR 川越線：川越駅東口5番乗り場より 東武バス「(川越 04) 桶川駅行」約28分
東武東上線：川越駅東口5番乗り場より 東武バス「(川越 04) 桶川駅行」約28分
西武新宿線：本川越駅5番乗り場より 東武バス「(川越 04) 桶川駅行」約25分



バスの方はこちら
山ヶ谷戸バス停
太郎右衛門橋
桶川駅・桶川北本 I.C. 方面

車の方はこちら
堤防を越えます

※下流側にある駐車場もご利用いただけます。
※トイレはありませんので、近隣施設のトイレをご利用ください。

共に、「山ヶ谷戸バス停」下車 徒歩15分



荒川太郎右衛門地区自然再生協議会

<https://sites.google.com/site/tarouemonarakawa/>

【運営事務局】
国土交通省 関東地方整備局 荒川上流河川事務所
〒350-1124 埼玉県川越市新宿町3-12 TEL：049 (220) 0145 FAX：049 (247) 9850
E-mail：tarou@ktr.mlit.go.jp
http://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo_index025.html



令和3年3月 制作

表 4

荒川太郎右衛門地区自然再生協議会

荒川太郎右衛門を知っていますか？

—— 豊かな自然を取り戻すために。 ——

荒川太郎右衛門地区自然再生事業





荒川の河川敷に豊かな自然を取り戻すため、仲間を募集しています！

荒川太郎右衛門地区自然再生事業
イメージキャラクター
「たろえもん」

表 1

荒川太郎右衛門地区自然再生事業 概 要

「荒川」は、甲武信ヶ岳に源を発し、秩父盆地・長瀨渓谷を経て関東平野の埼玉・東京の都県境を流れ、東京湾に注ぐ長さ 173 キロメートルの一級河川で、「荒川太郎右衛門自然再生地」はその中流部の桶川市・川島町・上尾市に位置する広大な河川敷です。「太郎右衛門」の名称は、江戸時代にこの地で渡し船を開設した人の名前とされ、この地域や橋の名称に今も受け継がれています。

「荒川太郎右衛門自然再生地」は、かつて河川改修で荒川の本流が直線になったとき、旧流路として残った 3 つの「池」を中心とした場所です。しかし、かつて湿地が広がっていたこの場所は、「①河床低下により池を中心とした湿地が減少してきている」「②樹林地が高木・壮齢化してしまい河畔の特徴的な姿が失われてきている」という大きな課題があります。

「荒川太郎右衛門地区自然再生事業」は、この荒川太郎右衛門地区で、本来の自然環境を取り戻そうとする「自然再生推進法」(平成 14 年制定)に基づく事業です。

自然再生とは、過去に損なわれた生態系その他の自然環境を取り戻すことを目的として、行政機関、地域住民、環境団体、専門家など地域のいろいろな方たちが参加して、自然環境を保全、再生、創出、維持管理することをいいます。

自然環境の保全
良好な自然環境がある状態を積極的に守ること

再 生
損なわれた自然環境を取り戻すこと

創 出
大都市など自然環境がほとんど失われた地域を緑の空間の造成などにより、その地域の自然生態系を取り戻すこと

協議会の取り組み

設立年月日	平成 15 年 7 月 5 日
会 長	浅枝 隆 (埼玉大学名誉教授)
メンバー構成	
学識委員	大学教授等 4 名
一般委員	NPO 代表者 15 名
桶川市・川島町・上尾市住民	12 名
埼玉県	
(河川砂防課、公園スタジアム課、農業政策課、農村整備課)	
及び桶川市、川島町、上尾市行政関係者	7 名
国 (国土交通省)	1 名



協議会

取り組みの内容を決めるため、年に 2 回程度、室内や現地で会合を行っています

移 植

埼玉県の「県の蝶」、ミドリシジミの餌になる
パンノキの移植を行っています



広 報

みなさんに荒川太郎右衛門地区
自然再生事業を知っていただくため、
昆虫観察や維持管理体験などの
イベントを行っています



みんなも参加してね！

高校生対象の公募で決定した
イメージキャラクター
「たろえもん」



調査 (モニタリング)

取り組んだことが、目的にあっているかを
確認するために調査や検討を行っています



維持管理

整備した場所の
管理・見守りをしています

このパンフレットに掲載している写真は、
協議会委員が撮影したものです。

荒川太郎右衛門自然再生地の紹介

現在も良好な湿地や樹林地などが広く分布し、オオタカを頂点とする豊かな生態系が形成されており、良好な景観とともに、首都圏近郊における貴重な自然地となっています。



出水時の様子
2019年10月13日
台風第19号の出水直後、
高水敷は全て水に浸かりました。

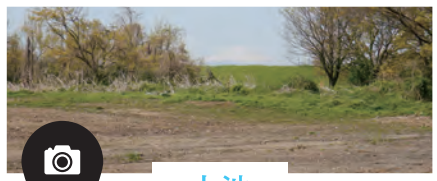
MEMO

自然再生地のおすすめフォトスポット



上池

湿地の風景



中池

草地と富士山の風景



下池

ハンノキ林の風景







掘削前

掘削後

湿地および止水域の拡大
旧流路や高水敷を掘削して、湿地と
なるようにしました。

河畔林の保全
植生管理および環境学習等のため
の通路を整備しました



中池通路の様子

ハンノキ林の保全・再生
乾燥化により外来種シンジュ等が繁
茂した地盤を掘削してハンノキを移
植しました。





シンジュ

移植前

移植後

荒川太郎右衛門自然再生地にいる生き物たち

自然再生地全体で見られる主な生物



アサザ



タコノアシ



ミゾコウジュ



クヌギ



トウキョウダルマガエル



アオダイショウ

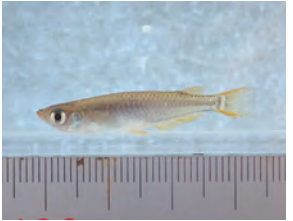


ホンドキツネ



オオタカ

上池で見られる主な生物



ミナミメダカ



タゲリ



ニホンアカガエル



ヒシ

中池で見られる主な生物



ノウルシ



ハンゲショウ



ホオジロ

下池で見られる主な生物



ミドリシジミ



オナガミズアオ

自然再生に向けての取り組み
協議会では、自然再生地の特徴的で多様な生き物とそれらが生育・生息できる環境の再生に向けて活動を行っています。

